

1. 学園夢企画提案書 (学部生・大学院生用)

A-1票

1) チームの名前	思い出を未来へつなぐー写真修復プロジェクトー			
2) チームリーダーの名前	専攻・学部・学科・コース	学 年	学籍番号	顧問の名前
和久 里洋	工学部・建築都市デザイン学科	4年	D2-08081	村上 正浩 murakami@
3) 企画目的 <i>d208081@nc.kogakuin.ac.jp</i>	<p>本企画は、東日本大震災の津波により傷み、汚れてしまった写真を一枚一枚修復し、被災された方々の大切な思い出を未来へとつなぐことを目的としている。また、本活動は、ボランティア活動をする志があっても、様々な理由があって現地に行けないボランティアに活動の場を提供することも目的の一つであり、これまでも本学の学生や職員、関東在住の社会人の方などのボランティア活動により800枚以上の写真の修復を行ってきた(2011年7月下旬~12月下旬までの活動実績)。今回の企画では、学園全体で写真修復に取り組める体制づくりを行うとともに、写真修復に関わる専門性が高い企業・団体の方々とネットワークづくりを進め、一人でも多くの方々の大切な思い出を未来へつなぐことを目指す。</p>			
4) 企画内容	<p>(1) 概要 本企画では、広報活動等を通じて学園をあげた活動体制づくりを行い、さらに3大学連携校である神戸学院大学・東北福祉大学ならびにアドビシステムズ株式会社等の協力を得ながら、企業・団体の方々と全国規模でのネットワークづくりを進める。そして、学園全体および全国規模での活動環境を構築し、大切な思い出を未来へつなぐ写真修復プロジェクトを推進していく。</p> <p>(2) 写真修復の主な流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 依頼者からアルバム(写真)の受け取り</li> <li>2) 開封作業: 内容物を確認するため、梱包されている写真を取り出し、新聞紙のうえに並べていく。</li> <li>3) 写真の分類・記録: ①写真の汚れを落とす、②汚損の程度により、Photoshop上で修復可能、スキャナーの補正機能だけで修復可能、修復不可能、の3つに分類する、③写真にポストイットで管理番号をつけ、ノートおよびカメラで記録をとる、の順序で行う。</li> <li>4) スキャナーによる写真のデータ化: 写真のスキャニング作業にあたっては、①ツール設定(写真のトリミング、色調補正、ごみ・傷の低減、褪色補正)、②解像度(600dpi)、③情報管理、に配慮しながらデータ化を行う。</li> <li>5) Photoshopを使った写真の修復: データ化した写真を、PhotoshopCS5(Adobe)を利用して修復する。写真の状態によって作業工程や使用するツール・作業時間が大きく異なる。</li> <li>6) プリンターでの印刷: プリンターでの印刷時には、明るさの調整やはみ出し率を調整し、L判で印刷する。印刷後はインク定着のため、1時間程度乾燥させる。</li> <li>7) 依頼者へ修復した写真の発送: 上記までの修復終了した写真をアルバムに入れ、①修復した写真を入れたアルバム、②修復した写真データを入れたDVD-R(データを希望する場合)、③ボランティアスタッフからのメッセージ、④原本(返却を希望する場合)、を同梱して発送する。</li> </ol> <p>(3) 期待される効果 本活動により被災された方々の大切な思い出を未来へつなぐとともに、本活動を通じてボランティアに関わる学生・生徒の社会貢献意識・問題解決能力・協調性・コミュニケーション力の向上といった教育効果も期待される。</p>			
5) 到達目標	被災された依頼者50名の「思い出」(推定写真枚数:1万枚以上)を未来へつなぐことを目指す!			
6) 活動日程	<p>4月~6月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①学園をあげた活動体制づくり、企業・団体の方々と全国規模でのネットワークづくり</li> <li>②アドビシステムズ株式会社等の協力を得て、プレス懇談会の開催</li> <li>③上記と並行して、依頼者5名の写真修復に着手、発送</li> </ol> <p>7月~12月</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>④アドビシステムズ株式会社等の協力を得て、プレス懇談会および中間報告会の開催</li> <li>⑤上記①の仕組み、およびニコンのインターネットストレージサービスの有効活用により、活動を全国へ展開し、依頼者25名の写真修復に着手、発送</li> </ol> <p>1月~3月(2013年)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑥上記⑤を継続し、依頼者20名の写真修復に着手、発送</li> <li>⑦アドビシステムズ株式会社等の協力を得て、プレス懇談会および最終報告会の開催</li> </ol>			
7) 活動場所	新宿校舎B-B223を活動拠点として、ニコンのインターネットストレージサービスを活用しつつ全国で活動を展開する。			



3. 学園夢企画チームメンバー表 (学部生・大学院生用)

B-1票

1) チームの名前	思い出を未来へつなぐー写真修復プロジェクトー			
2) チームリーダーの名前	専攻・学部・学科・コース	学 年	学籍番号	チームでの役割
和久 里洋	工学部 建築都市デザイン学科	4年	D2-08081	統括および写真修復
3) メンバーの名前	専攻・学部・学科・コース	学 年	学籍番号	チームでの役割
① 中村 侑司	工学部 建築都市デザイン学科	4年	D2-08049	写真修復
② 萩原 俊彦	工学部 建築学科・環境コース	3年	D1-09229	写真修復
③ 西川 恭平	工学部 建築学科・環境コース	3年	D1-09218	写真修復
④ 湯目 大	工学部 建築学科・環境コース	3年	D1-09293	写真修復
⑤ 山口 隆一	工学部 建築学科・環境コース	3年	D1-09284	写真修復
⑥ 牧野 夏葉	工学部 建築学科・建築コース	4年	D1-08213	写真修復
⑦ 稲垣 大輔	工学研究科 建築学専攻修士課程	修士1年	DM-11008	写真修復
⑧ 浅野 菜邦	工学部 建築学科・環境コース	4年	D1-08005	写真修復
⑨ 岡田 俊樹	工学院大学	研究生	K2-11012	外部ボランティアの調整
⑩ 村上 正浩	建築学部 まちづくり学科			企業・団体の調整
⑪ 工学院大学学生 他32名	工学院大学			写真修復
⑫ 工学院大学職員 10名	工学院大学			写真修復
⑬ 外部ボランティア 25名				写真修復
⑭				
⑮				
⑯				
⑰				
⑱				
⑲				
⑳				